

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①厚真町文化講演会/生涯学習講演会
- ②学校閉庁日の取組/厚真町教育振興基本計画解説/児童生徒芸術鑑賞会に寄付
- ③主体的に学習に取り組む子どもたちのよさを伸ばす / 青少年センターからのお知らせ
- ④11月定例教育委員会/月食観察会の開催 / スピードスケート記録会兼スケートまつり/リンク利用案内/英会話教室
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

令和3年度厚真町文化講演会を開催

11月26日（金）に厚真町総合福祉センターで、北京オリンピック銀メダリスト末續慎吾^{すえつぐしんご}さんを講師に招いて教育委員会主催による「厚真町文化講演会」が開催されました。講演会は、新型コロナウイルス感染症防止対策としてオンラインシステムによるリモート形式で開催され、参加者は会場とオンライン参加を合わせ約50人となりました。

講演では、オリンピックでメダリストとなる夢を追いつつ陸上に打ち込んできた経験や、メダリストになった今も陸上を続けているモチベーションなどが語られ、参加者は深く聞き入っていました。

講演後は、参加した子どもたちなどから多数の質問があり、丁寧な回答で終始盛り上がっていました。末續さんから陸上に取り組む子どもたちに対して「夢をあきらめた時点で夢は終わる。夢を持ち続けてチャレンジしてほしい。」とのエールを送るとともに練習方法のアドバイスも伝えていました。

最後に、「いつか厚真町で皆さんと一緒に走ってみたい。」と締めくくられました。



オンライン会議システムでの文化講演会



質問コーナーでは、大勢の人が質問

すえつぐしんご
末續 慎吾さん

2003年8月フランス・パリで開催の世界陸上200mで日本人初の銅メダルを獲得。2008年北京五輪4×100mリレーで日本史上初の銀メダルを獲得。五輪、世界選手権を通じて短距離種目日本人初のメダリストとなる。

生涯学習講演会 地域で子どもを育てるためにできること —子どもたちの主体性を伸ばす大人の関わり—

11月25日（木）に厚真放課後子どもセンターで、「地域で子どもたちを育てるためにできること」と題して、生涯学習講演会を開催しました。放課後児童クラブ支援員や民生委員、地域の方々など約20人が参加し、いじめや虐待等の様々な暴力から子どもを守るための人権教育について学びました。

特定非営利活動法人北海道CAPをすすめる会から3人を講師として招き、劇やワークショップをとおして、「安心」「自信」「自由」という3つのキーワードについて学び、日常的な子どもたちへの関わりについての理解を深めました。



ワークショップの様子

「学校閉庁日」の取組にご理解とご協力をお願いします

「学校閉庁日」とは、学校における働き方改革の一環として、学校の先生が休暇を取得しやすい環境を整え、ワーク・ライフバランスの充実を図ることにより、心身の健康を保ちながら職務に従事できるようにするため、長期休業中に設定される閉庁（業務を行わない）日です。

冬休み中の町立学校閉庁日

小学校 12月28日（火）～1月5日（水）

中学校 12月28日（火）～1月4日（火）

【その他】 ・緊急の場合は、学校から提示される緊急時連絡先にご一報ください。
 ・この期間は学校開放による体育館の使用もできません。

【問い合わせ先】 教育委員会生涯学習課 学校教育グループ（☎27-2494）

厚真町教育振興基本計画（改定版）」解説④

令和3年度～令和7年度の本町教育の方向性や計画を定めた「厚真町教育振興基本計画（改定版）」の解説④をお届けします。

今月は、同計画が目指す10の基本方向のうち「4 健やかな体を育む子どもの育成」について解説します。

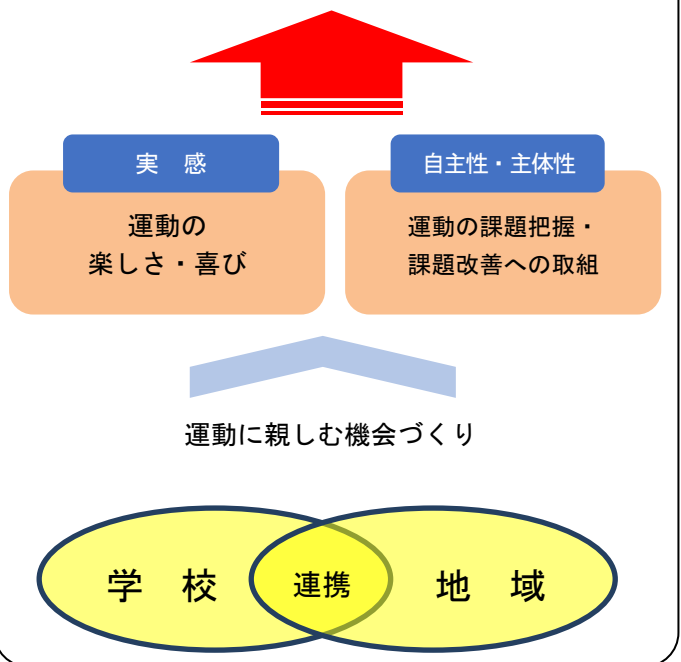
健やかな体と体力は人間の活動の源であり、意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わることから、運動の楽しさや喜びを味わう授業に工夫を凝らすとともに、自ら考え運動の課題の改善につなげるため、学校と地域社会との連携を図って運動に親しむ機会づくりに努めます。

基本方向4では、「体力運動能力の向上」「健康の保持増進」「学校給食の充実」の3つの基本方針を示しています。



※厚真町教育振興基本計画は、厚真町ホームページ（左記）で閲覧することができます。

健やかな体と体力



厚真町商工会 児童生徒芸術鑑賞会に寄付

12月3日（金）、厚真町商工会から、今年度開催された児童生徒芸術鑑賞会に対して寄付がありました。

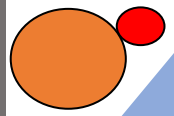
厚真町商工会寺坂文秀会長からは、「教育の振興に役立ててほしい」と目録が遠藤教育長に手渡されました。

※児童生徒芸術鑑賞会は新型コロナウイルス感染防止対策から各小中学校で開催して、演劇が披露されました。



児童生徒芸術鑑賞会寄付の目録を遠藤教育長（左）に手渡す寺坂会長（右）

主体的に学習に取り組む子どもたちのよさを伸ばす



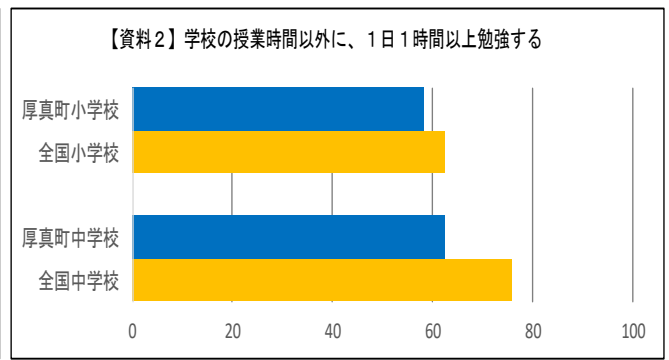
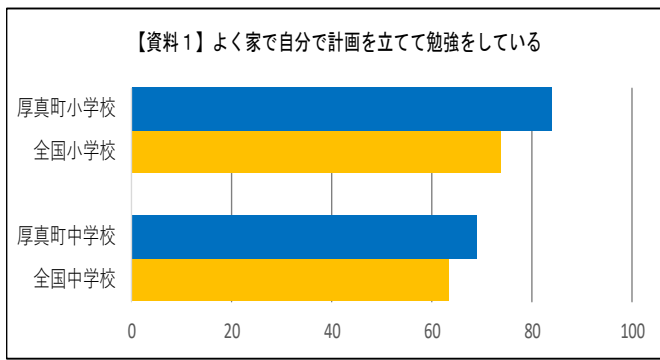
令和3年度全国学力・学習状況調査の結果から読み取る

12月、厚真町教育委員会では、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果を町のホームページに公表しました。調査の一つである「児童・生徒質問紙」から、次の二つの設問について考察します。

一つ目は「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という設問についてです。【資料1】にあるとおり、肯定的な回答の割合は小・中学校ともに全国平均を上回っており、主体的に家庭学習に取り組むことができます。これまでの学校・家庭における指導の成果がうかがえます。

一方、二つ目の「学校の授業時間以外に、1日1時間以上勉強する」という設問に対しては、当てはまると回答した割合は【資料2】にあるとおり、小・中学校ともに全国平均を下回っています。小学校では「学年×10分」という目安が示されており、中学校ではそれ以上に取り組むことが望ましいとされています。また、主体的に取り組む厚真町の子どもたちの実態からも、学習に取り組む機会(時間)が増えることは、子どもたちの資質・能力を一層高めることにつながると考えられます。

厚真町教育委員会としても、教育研究所の学習部会の機能を生かし、家庭や学校と連携しながら厚真の子どもたちのために取り組んでまいります。



青少年センターからののお知らせ

冬休み特別企画 ルーフ絵画展開催

- 期間 令和3年12月25日(土)～令和4年1月16日(日)
- ※祝日及び12月30日～1月4日を除く
- 時間 午前9時～午後5時
- 場所 青少年センター2階ギャラリー

プラネタリウム投影情報

- 絵画展開催に合わせてプラネタリウム投影を行います。期間中(日曜日は除く)の平日、午前10時と午後3時からの1日2回投影します。(投影日前日までの事前予約が必要です。)※土曜日10時30分からの定期投影会のみ(予約不要)
- (鑑賞を希望の方は、右記にご予約ください。)

青少年センター・創作館 年末年始の休館日

- 12月30日(木)～1月4日(火)
- ※1月5日(水)から全館開館

今年も大変
お世話になりました!



【問い合わせ】

厚真町教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

11月定例教育委員会

11月26日(金)に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

厚真高校活性化促進事業視察について／11月校長会議、教頭会議について／就学時健康診断時「家庭教育セミナー」について／厚真町文化祭の開催について／図書フェスティバルの開催について／月食観察会の開催について／生涯学習講演会の開催について

◆協議事項

令和4年度教育委員会所管一般会計予算(案)要求について／令和3年度全国学力学習状況調査結果の町民公表について

◆その他

成人式の開催について

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

月食観察会の開催

11月19日(金)、月食観察会が開催され、27人が参加しました。

この日は朝から悪天候で開催が危ぶまれましたが、月食を観察する時には天候は回復し、青少年センター屋上からは神秘的な夜空の天文ショー、月が欠け満ちてくるブラッド・ムーン(皆既月食中の赤黒い色の月)を観察することができました。

天文台の大きな天体望遠鏡からは、月の鮮やかに赤黒くなった満ち欠けが観察でき、参加者からは、「きれいな、素敵なお月だ」との感激の声が聞かれました。

天文台にある大きな天体望遠鏡で観察した月食



天文台にある大きな天体望遠鏡で観察した月食

厚真町スピードスケート記録会 兼あつまスケートまつり

「第42回厚真町スピードスケート記録会兼あつまスケートまつり」を開催します。今年度はフィギュアやホッケーでも活躍できる新種目や未就学児も楽しめる企画を用意し、スケートまつりとして開催します！詳しくは各学校から配付されるチラシをご覧ください。

◆とき 令和4年2月5日(土)
開会式 : 午前9時00分から
競技開始 : 午前9時30分から
(開会式終了後開始)
中止の場合は2月6日(日)に順延

◆ところ 町民スケートリンク(新町)

◆問合せ 教育委員会社会教育グループ

町民スケートリンクの利用について

今年の町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。ご利用をお待ちしています。

◆利用期間

令和3年12月下旬〔予定〕から
令和4年 2月20日(日)まで

◆利用時間

午前9時00分から午後8時00分
※12月31日は午前9時～正午まで
※1月1日は休み、2日・3日は午後1時～午後4時まで
※天気や気温等により利用期間が変更になる場合もあります。

◆問合せ スポーツセンター
☎27-3775

シェリー先生と学ぶ みんなで楽しく英会話教室

ジャマイカ出身のシェリー先生と一緒にゲームや日常的な会話などを行いながら英語を学ぶ、英会話教室を開催中です。

初心者・経験者の2つのクラスで展開しているので、英語に苦手意識のある方でも気軽に楽しく始められます。

参加希望者は、事前に電話にて申し込みをお願いします。

日程 【1月】19日、26日
【2月】2日、16日
【3月】9日、23日
○初心者クラス17:30～18:30
○経験者クラス18:30～19:30
場所 青少年センター2階 研修室
対象 英会話に興味のある中学生以上の町民
申込み 教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

図書室だより

青少年センター図書室
TEL 27-2495 (平日)
TEL 27-2321 (土日)

挑戦しよう

読書感想文コンクール

書いてみよう

厚真町教育委員会では小学生を対象に「読書感想文コンクール」を開催しています。本の内容をどう思ったかなどと文章で表現しなくてはいけないので、少し大変かもしれませんが、気持ちを言葉に置き換える練習になりますのでぜひ挑戦してみてください。

読書感想文のための本は、マンガと雑誌は対象外です。何を調べばいいの…という人向けに、選びやすいヒントを紹介します。

1. 自分と同じ年齢の主人公が出てくるお話

お話の主人公はこの場面でこうしたけど、自分だったらどうしただろう、何ができたかなどお話の世界に飛び込んだつもりで感想を書いてみましょう。

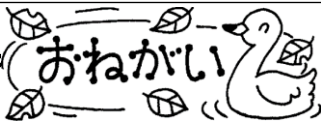
2. 世の中で活躍している人の本(伝記という)

安藤百福さんはどうしてカップヌードルを作ったの？2024年に発行される新しいお札の顔、北里柴三郎さんは何をした人なの？偉人と呼ばれる人達が作った物や事は、私たちの身の回りにたくさんあります。今の私たちにどんな風に役に立っているのでしょうか。

3. ニュースで聞く言葉を本で読んでみる

学校の授業や、会社の広告でSDGsと聞いたことはありませんか？今年の話は、新型コロナウイルス、世界遺産と縄文遺跡、大谷翔平選手の活躍といったところでしょうか。

本を探すのをお手伝いします。カウンターまで相談に来てください。



引き続き感染防止対策にご協力ください

- ・体調が悪い時、または家族の中に体調が悪い方がいる時は、外出を控える。
- ・図書室へ来るときは、マスクを着用して、入口で検温、消毒をする。
- ・図書室内では常にマスクをして大声での会話を控える。

1月の休館日

12月30日(木)～1月4日(火)

年未年始休館

10日(月) 成人の日



- 青少年センター図書室開館時間
午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)
- 厚南会館図書室
午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

1月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは

27日(木)10時30分から11時まで

場所は 子育て支援センターです。

☆放課後子ども教室☆

初雪の便りが届きました。積雪の朝、カーテンを開けるととてもまぶしくて、窓の外の白い世界に、心もスッと明るくなりました。身支度を整え外に出ると、冬の匂いがします。冷たい空気を吸い込んで、体も頭もシャキッと新鮮な気持ちで1日のスタートを切りました。雪が積もった初日には、子どもたちも今シーズン第1号の雪だるまをつくったそうです。この冬は何体の雪だるまをつくれるでしょうか。程よく、積もってくれることを願います。

11月～12月前半にかけての子ども教室は、間伐材を使った木のマグネットづくりや、想像を楽しむミニ実験、体をしっかり動かすスポーツ（低学年はポートボール、高学年はミニバレーにチャレンジしました）、クリスマスにちなんだレクリエーションゲームなどを行いました。木のマグネットづくりでは、高学年はノコギリを使って木を切ることにチャレンジしました。折り畳み式のノコギリを、安全な道具として使えるよう注意点を学び、実際に練習してみます。真っ直ぐ切ることに苦戦している子もいましたが、やりきったあとの子どもたちの表情はとても晴れやかでした。ミニ実験では決められた条件のもと、見本をよく見て、折り紙で同じ形をつくる、という想像力と創造力が求められるゲームを行いました。条件として、ハサミを使える回数が1回しかない。けれど、自分は4回使いたい。そう考えたときに、子どもたちは自分の中で様々な方法を絞り出します。その子はじっと折り紙を見つめたあと、ハサミを手に折り紙を慎重に回転させ、四隅をギリギリ切り落とさないように切ることで、自分が思い描いた形を完成させました。条件通りハサミを使ったのは1回です。答えにたどり着く道はひとつではありません。失敗作と言いながら、手の中に丸めて隠したのを見てみると、確かに見本とは違うけれど、とても面白い形を作り出している子もいました。やってみたことが、たとえイメージしたことと違って、それは次に進むためのステップです。間違ってみるのも面白い、と思える感覚が子どもたちの中にもっと育つと良いな、と感じました。

11月20日（土）には、【子ども教室特別教室・あつまっ子ふるさと体験教室】を開催し、厚真産の大豆を使った豆腐づくりのプログラムを行いました。町内で豆腐づくりの指導経験を持つ方にご協力をお願いし、先生として参加していただきました。大豆をミキサーで攪拌し、生呉（大豆に水を加えてつぶしたもの）を煮て豆乳をつくり、にがりで固めれば豆腐の完成です。生呉を絞ったり、温度を調節したりする作業には少し苦労しましたが、出来上がった豆腐を一口食べてみたときの、子どもたちの「甘い！美味しい！」の声ですべてが報われました。「来年は、うちでつくった大豆でやる！」と張りきっている子の気持ちに伝えられるよう、新しい手帳の9月のページに、「大豆確保」とメモをしておきたいと思います。

